

令和4年度 あわら市北潟小学校スクールプラン



あわら市教育の基本理念
 「ふるさとあわらを愛し、一人一人が夢や希望を持ち個性が輝く教育」

学校教育目標 … 郷土、人、自分を大切にすることの育成

めざす児童像	<ul style="list-style-type: none"> ・かんがえる子 … 自ら考え、創造力豊かな子 ・あかるい子 … 感謝の心を持ち、友だちを大切にすること ・たくましい子 … 心身ともに健康で、ねばり強くがんばる子
---------------	---

《目指す学校像》

- ・笑顔あふれる楽しい学校
- ・一人一人が生かされる学校
- ・地域とともに歩む学校

重点目標			
確かな学力	豊かな心	健やかな体	信頼される学校
<ul style="list-style-type: none"> ◎学習意欲を高める授業づくり ○基礎学力の定着と学力の向上 ○家庭学習の充実と読書の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自他を理解し、人権を尊重した温かい集団づくり ○伝わるあいさつと返事 ○思いやりと感謝の気持ちの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎基本的な生活習慣の確立 ○体力づくりの時間の確保と方法の工夫 ○安全・防災教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ふるさと学習の推進 ○積極的な学校公開、情報発信 ○学校間の連携

具体的な取り組み			
<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくりを行い、学ぶ意欲を高める。 ・主体的に学習に取り組む授業づくりを行う。 ○ICTの活用、学習形態の工夫、協働的な学びの実現を通して、学力の向上を目指す。 ・目的や課題に応じた学習形態やタブレット端末等を活用し、学び合う活動を充実させる。 ・NIE活動等に取り組む、読む力をつけるとともに語彙量を増やし、表現力を育てる。 ・現職教育や校内研修を定期的に開催する。 ○月末テスト、朝学習等を計画的に実施する。 ○家庭学習の習慣化を図る。 ○図書館の活用を推進する。 ・ビブリオバトルの開催(2回/年)。 ・読書に親しませるとともに家庭読書の推進をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○互いの良さを認め合い、思いやりの心をもって行動できる子を育てる。 ・ソーシャルスキルトレーニングや縦割り活動、体験学習に取り組む、自己有用感を高め、自他を大切にすることを養う。 ・考え議論する道徳の授業づくりを行う。 ・児童アンケートや個人面談を定期的に行い、児童理解に努めるとともに問題行動等の早期発見及びその解決を行う。 ○地域や家庭と連携したあいさつの指導に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭と連携し感染症対策を行う。 ○「げんきチェック」(生活リズムや心身に関するアンケート)を実施する。 ・家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」等基本的な生活習慣の確立に努める。 ○週2回のチャレンジタイム(業間運動)を実施する。 ・児童が目標をもち、意欲的に体力づくりに取り組むようにする。 ○交通安全教室、避難訓練、防犯教室等を通して自分の身・友だちの身を守る意識を高める。 ○家庭と連携した情報モラル教育の推進とスマートルールを遵守できる子を育成する。 ・デジタル・シティズンシップ教育の推進をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の自然、もの、人を生かした体験活動に取り組む、地域に誇りと愛着を持つ児童を育てる。 ・北潟・波松の自然環境や資源を有効に活用した活動に取り組む。 ・SDGsを意識した活動に取り組む。 ○学校公開や各種おたより、HP等を通じて、学校の教育活動を発信する。 ○地域の子ども園や小学校、中学校と積極的な交流を図る。

数値目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業が分かりやすく楽しいと思う児童90%以上 ・考えや意見をはっきりと話せたり、書けたりする児童90%以上 ・週に3日以上読書する児童90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を見てあいさつをする児童90%以上 ・縦割り班活動でめあてに沿って取り組む児童90%以上 ・自分の良さを自覚し、学校・学級に居場所があると感じる児童90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「早寝、早起き、朝ごはん」の実践ができている児童80%以上 ・チャレンジタイムを通して体力づくりに取り組む児童90%以上 ・SNSやテレビゲーム等のメディアのコントロールができる児童80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる地域のよさが分かったと答える児童90%以上 ・学校は教育活動をよく発信していると答える保護者90%以上

<p>業務改善のための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用による情報、教材の共有化の推進 ・学校行事や教育活動の精選 ・専門スタッフ、外部人材の活用(学校運営支援員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の連携の強化と役割分担) ・一斉退庁デーの実施、時間外在校等時間月45時間以内の励行 ・人事評価制度による業務改善の自己評価・自己改善
--